

### 感染症



## 虫刺され

### 重要ポイント

- 虫刺されは顔や腕など、皮膚の露出している部分に多い
- 虫が衣類の中にもぐり込んだ場合などは、一ヶ所に固まって刺されることもある
- 温めるとかゆみが増す
- 患部を冷たい濡れタオルで拭いて冷やすと効果があることがある
- 抗ヒスタミン剤が有効なことがあるが、アレルギー反応に注意
- 夜間は抗ヒスタミン・シロップが有効なことがある
- 掻いて皮膚に傷ができた場合は、感染を防ぐために消毒する

### 症状

虫刺されは様々な虫により皮膚に注入された毒素に対する局所的な反応のことです。非常によく見られる症状で、反応の程度には個人差があります。刺し傷は一つまたは複数あり、数日間かゆみを伴います。虫刺されは水ぶくれになることがあります（特に脚に多い）。

### 発症箇所

虫が皮膚に取りつきやすい露出した部分にできることがほとんどです。虫が衣類の中にもぐり込んだ場合などは、一ヶ所に固まって刺されることもあります。

虫刺されにアレルギー反応を起こす子供もいます。そうすると実際に刺された箇所から遠く離れたところに虫刺されに似た点がかたまって現れます。たとえば、脚を虫に刺された子の胴体や上肢に現れたりします。時間が経てば治まりますが、同じ虫に刺されて再発することもあります。

### 治療法

主な症状はかゆみです。温めると悪化します。患部を冷たい濡れタオルで拭いて冷やすと効果があることがあります。子供によってはカラミン・ローションなどの冷やす薬を皮膚に塗布すると有効な場合があります。

抗ヒスタミン・クリームを使うこともありますが、アレルギー性皮膚炎の原因となる場合があります。もしクリームを塗った箇所の皮膚に発疹が現れたら直ちに使用を中止して下さい。かゆみがひどくて夜眠れないようなら、かかりつけの医師が推薦する抗ヒスタミン・シロップを飲ませるのも良いかもしれません。

虫刺されをひどく掻いて滲出やかさぶたになると、細菌感染の危険があります。そのような場合は感染を防ぐために消毒が必要な場合があります。

## Japanese – Insect Bites

ほとんどの場合数日で治まります。かゆい点が消えなかったり、多数の新たな点が出現する場合は医師に相談し、虫刺され以外の原因が無いかどうか診察してもらう必要があるかもしれません。

### より詳しい情報の入手先：

母子健康看護師

薬剤師

かかりつけの医師

© 2002, Department of Dermatology, St. Vincent's Hospital Melbourne, Victoria Parade, Fitzroy, Victoria 3065 Australia.